勝部地域
まちづくり計画書
【改訂版】

勝部地域の将来像

ひとりひとりが生き生きと
ふれあい支えあって暮らす
みんなのまち・勝部

まちづくり目標

1　一人ひとりの思いを尊重し合えるまちづくり

2　豊かな自然を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり

3　ふれあい、支えあい、心豊かに暮らせるまちづくり

令和8年1月
勝部地域まちづくり協議会

目　次

1 はじめに ・・・・・・・・・・・ 1

2 勝部地域の概要 ・・・・・・・・・・・ 2

（1） 位置及び区域

（2） 人口・世帯構成

（3） 景観・自然環境

（4） まちの基盤施設

（5） バス交通

（6） まちのサービス（公共的施設・商店等）

（7） まちの安心・安全（防犯・防災）

（8） 支えあい（高齢者福祉・子育て支援）

3 勝部地域のコミュニティ活動の現状 ・・・・・・・・・・・ 3

（1） コミュニティ活動の特性

（2） 分野別コミュニティ活動の現状

4 まちの将来像 ・・・・・・・・・・・ 4

１　　はじめに

近年の都市化や核家族化、少子化、情報化の進展などにより、地域コミュニティの状況が変化し、地域における連帯感が薄れつつあります。

こうした、社会情勢及び住民自治が中核となる地方分権時代の中にあって、これからのまちづくりは、地域の人々が、みんなで知恵を出し合い、力を合わせて、地域の抱えている課題を解決する「地域自らのまちづくり」の視点が重要になっています。そして地域の課題とその対応について、自助（市民がみずから取り組むべきこと）・共助(地域社会が共同して取り組むべきこと)・公助(行政として取りむべきこと)の役割分担を図りながら、市民と行政が共に考え、共に行動することが強く求められています。

地域における連帯感を醸成し、地域自らのまちづくりを進めるためには、地域社会が共同して取り組むべきこととする「共助」の視点を生かし、自治会・公民館を中心とした各種団体が連携を強化して、地域に住む人々が共通の目標を持ち、地域の問題・課題を自ら解決することのできる地域コミュニティの構築が不可欠です。

このような中で、地域課題の解決に向けて、また、生活の豊かさや潤いを求めて、地域のさまざまな団体の力、あるいは市民の持つさまざまな知識や技術を有効に活用できる体制づくりが必要になっています。

勝部地域においては、平成２１年１月２０日に「勝部地域まちづくり協議会」（以下「協議会」という。）が設立されました。

協議会では、当地域が自ら取り組む活動方針や内容を示すとともに、勝部地域の総合的な発展と振興を目指して、まちづくり活動の基本となる「勝部地域まちづくり計画書」（以下「まちづくり計画書」という。）を策定しました。

この計画書は、「まちづくり」を行政が一方的に進めるものではなく、地域住民が地域の将来像を見据えたうえで、主体的に取り組んでいくことが必要であるとの視点に立って策定されたもので、地域住民の主体的な取り組みを基本とし、地域と行政との連携のもとで、後世に誇りを持って引き継ぐことができる勝部地域の創造を目指したものです。

２　勝部地域の概要

(1)位置及び区域

勝部地域は、鳥取市の西部に位置し、北は三朝町、西は湯梨浜町、東は日置地域と接しています。南部に飯盛山、鉢伏山があり、地域の中央を勝部川が南北に流れ、下流の田原谷地内で支流である八葉寺川が合流して日本海に注いでいます。

勝部地域は、勝部川沿いに点在する桑原、澄水、楠根、紙屋、田原谷の５つの集落と葉寺川に沿った八葉寺集落の６つの集落により形成されています。

(２)人口・世帯構成

令和７年９月現在での人口は約４２１人、世帯数は１９０世帯となっています。

(３)景観・自然環境

勝部地域は、周囲を山で囲まれており、緑豊かな山の自然に恵まれた静かで落ち着いた雰囲気のまちであり、緑の豊かさや自然風景に対する住民の満足度が高い地域です。

(４)まちの基盤施設

(道　路)

勝部地域における道路は、県道５１号線（倉吉川上青谷線）が、勝部川の西側を走っており、市道は勝部川の東側を走る路線と田原谷地内から分岐して八葉寺集落へ向かう２路線があります。

田原谷地内から澄水地内までの県道は、道路の幅員は広く歩道も確保されていますが峠道では、冬期の積雪による通行規制や路面凍結の場合があり、安全な通行に支障をきたしています。また、市道は道路幅員が狭く、歩道は確保されていません。

(上下水道)

上下水道施設は、上水道・集落排水施設が１００％完備されています。

(コミュニティ施設)

地域全体の集会施設となる地区公民館が設置され、地域住民のコミュニケーションを図る拠点となっているほか、集落の集会施設として全集落に公民館が設置されています。

(公園・広場)

公園・広場は、桑原、田原谷、八葉寺の３カ所に農村公園があり、勝部グラウンドが運動場等として活用されています。

(５)バス交通

公共交通機関としての路線バスは廃止され、現在は市の有償バスが運行されています。なお、小・中学生は主にこのバスを利用しており、保育園児については通園バスを利用しています。

(６)まちのサービス(公共的施設・商店等)

勝部地域には、加工施設「伝承館」、郵便局等の公益的施設が立地していますが、医療等の施設は整備されていません。また、商店は一軒もなく、買い物は地域外の店舗を利用しなければならない現状にあります。

（7）まちの安心・安全(防犯・防災)

消防関係の施設は、鳥取市消防団青谷地区団第４分団のみが設置されています。
警察関係の施設は整備されておらず、巡回パトロールにより対応しています。
また、災害時の対応に備えて、全ての集落に「自主防災会」が設置されています。
その他、交通安全協会勝部分会および勝部地区防犯協議会が組織されています。

（8）支えあい(高齢者、福祉・子育て支援)

地域には、高齢者で構成される「老人クラブ（寿会)」や、子どもの健全育成を目的とした「やまびこくらぶ」が活動しています。なお、高齢者福祉や教育・子育てに関する施設は整備されていません。

3　勝部地域におけるコミュニティ活動の現状

（1）コミュニティ活動の特性

高齢者の増加、リーダーの高齢化及び人材不足、イベント参加者の減少などの要因により衰退化傾向にあります。
中山間地域の特性としては、住民の地域への愛着心が強く、古くから受け継がれてきた歴史的資源が多く残されており、これらを大切に守りながら、地域の絆を深める伝統行事が今も盛んに行われています。
一方、近年、児童数の減少や高い高齢化率など、少子高齢化、過疎化が進展していることから、活動の担い手不足など、地域コミュニティ活動の現状維持が難しくなりつつある状況にあります。
全地域的な動きとしては、これまでの運動会や文化祭などの暮らしを豊かにするための活動に加え、各種団体などによるよりよいまちをつくるための地域活動が行われています。

（2）分野別コミュニティ活動の現状

地域におけるまちづくり活動は、地域振興活動、生涯学習活動、体育活動、子どもの健全育成活動、交通安全活動など、さまざまな分野で地域内の各種団体を中心に活動しており、各分野別の活動状況は、以下のとおりです。

[地域振興活動]

自治会が中心となり、地域要望の取りまとめ、自主防災活動の取り組みなど、地域課題解決(まちづくり)のためのコミュニティ活動、地区公民館や地区体育会などに対する支援の取り組み、地域おこしのためのイベントを通じた地域内外住民との交流などの活動が行われています。

[生涯学習活動]

地区公民館を活動拠点に、自由時間の増大や生きがいを求める人々の生活志向などを背景として、地域住民が自主的に取り組むサークル活動が行われており、会員相互の親睦や交流も図られています。

［体育活動］

地域における住民の健康・体力づくりとスポーツの振興を図ることを目的として、体育施設等を活動の場として、グラウンドゴルフ大会の開催をはじめ、自治会や公民館等と連携し、地区運動会などの多彩なスポーツ行事が行われています。

［防犯活動］

犯罪のない安心･安全のまちづくりを進めるためには、警察など関係機関と連携のもと、地域住民の防犯意識の高揚など、地域ぐるみの取り組みがより重要になっています。地域での防犯活動を行う団体として、地区防犯協議会が設置されており、自主的な防犯活動の取り組みが行われています。

［交通安全活動］

交通事故を防ぐためには、地域住民一人ひとりが交通ルールを守り、交通安全に心がけるとともに、地域ぐるみで交通安全運動を展開していくことが大切です。

地域における交通安全活動団体として交通安全協会の分会が組織されており、交通安全キャンペーン、交通安全施設の維持管理などの活動を通じて、交通事故のない安全な地域づくりを進めています。

［子どもの健全育成活動］

複雑、多様化した青少年問題に地域ぐるみで取り組むため学校、ＰＴＡ、地区公民館、防犯協議会等を中心に、青少年にふさわしい環境づくりなどの活動が行われています。また、子どもが心身共に健全に育つためには家庭・学校・地域の連携がより重要となっており、コミュニティの行事等も子どもの体験活動に配慮した取り組みも行われています。

［環境保全活動］

自治会などの住民自治組織が中心となり、道路、公園等の清掃、公共施設周辺の環境整備などの地域活動が行われています。

４　まちの将来像

勝部地域には、周囲の山々の緑など美しい自然やきれいな空気があり、人々の生活の中には近所づきあいや子育てなどの地域活動を通じた良好で活発なコミュニティが息づいています。これらは、勝部地域の財産として、住民のみなさんにも高く評価されており、勝部地域の魅力となっています。

今後、勝部地域は、まちの魅力を生かしながらさらに住みよいまち、つまり、美しい自然やきれいで澄んだ空気の中、さまざまなふれあい・交流活動が活発に行われるまちをめざすこととし、まちの将来像を「一人ひとりが生き生きとふれあい支えあって暮らすみんなのまち・勝部」と定めます。

先人が築いてきたまちの文化・歴史や美しい自然、人々の体験が若い世代に受け継がれ、地域住民が愛着と誇りを持って住み続けたいと思うような、住みよいまちをめざします。